

いじめ対応に関する組織的取組の最新動向

7月1日（土）に「現代的学校教育の課題解決シリーズ 2017」の学び合う仲間による教員研修リレー講座の第5回が行われました。今回は、群馬大学教育学部准教授の吉田浩之先生（生徒指導）による、「いじめ対応に関する組織的取組の最新動向」と題して、学校現場からの質問事例、最新の通知、条文解説、重大事態への対処など、具体的事例を取り上げての学び合いが展開されました。参加者からの積極的な質問等により、充実した研修になりました。



<参加者の感想から>

- 学校現場では、十分に認識しておく内容でありながら、初めて知ることが多く、知識として理解しておくべきだと感じました。
- 遠方からの参加で、午後の開始はありがたく、時間が短く感じる講座をありがとうございました。もっと勉強しなければならないと思いました。関連する講義があれば受講したいと思います。
- 法律のもとでいじめに対応すること、あらためて認識できました。毎回、新しい内容を示していただき、勉強になり、楽しみにしています。
- いじめ防止対策推進法によって、学校の対応のあり方が大きく変化しているので、危機感を持ちました。
- 法律に基づき組織的に対応することが自身を守ることにつながるということが、よく理解できました。参加した教員が本日の学びを広めていくことは大切だと思いました。
- いじめと法律をここまで結びつけて考えたことがなく、今回をきっかけに深く学ぶ機会がほしいと思いました。もっと長い時間で講義をお願いしたいです。
- 学校の基本方針の内容を理解していないことや組織的に対応する意識が乏しいなど、法律からみて課題が多いことを強く感じました。